

継往開来

～ 過去から未来へ引き継ぐ ～

大阪市立環境科学研究所は、明治 39 年 8 月に市立大阪衛生試験所として誕生してから、今年で 110 周年を迎えます。歴史のある本研究所の図書室には明治からの公衆衛生にかかわる多くの資料が所蔵されています。それらの資料を紐解いてみると 110 年の時の流れを感じることができます。



研究所玄関に飾られている過去の資料



明治 23 年に大阪における「健康の保持と衛生思想の普及」を目的に設立された大阪私立衛生会が、明治 31 年に発行した「通俗衛生」の第一号を眺めてみると、「大阪市の上水に就いて」などの記事があります。「大川の上流櫻ノ宮の少し上手に於いて堤の岸から川中へ八十尺ばかり突き出して塔を設け・・・」など取水についての記述がみられます。貯水池は大阪城内にあったようです。当時の上水道の仕組みがわかります。大阪府下での伝染病の患者数や死亡数の一覧もあります。当時の衛生状況がわかる一級の資料です。

「家事と衛生」第一巻は、当時の本研究所に設置された「家事衛生研究会」によって、大正 14 年に発行されました。巻頭に藤原九十郎第 3 代所長の「夏と児童の衛生」のお話があります。当時は乳幼児の死亡数が多く、夏は春秋の 3 倍以上であると書かれています。それを少しでも減らすため、いかに夏を過ごすか。熱中症が問題となっている現在にも通じる内容です。さて、この本で何といっても目を引くのは、巻末に料理のレシピが掲載されていることです。スポンジケーキやシュークリームなど当時としては珍しいレシピがあります。「鯛の葛たき」とはいかなるものでしょう？



戦時中の料理献立集



戦後すぐに本研究所で編纂された食品成分表

皆様からの、衛生・栄養・環境などに関するご質問や取り上げてほしいテーマなどをお待ちしております。

〒543-0026 大阪市天王寺区東上町 8 番 34 号
大阪市立環境科学研究所「健康・環境・サイエンス」係

電話 06-6771-3043
ファックス 06-6772-0676
メールアドレス fc0028@city.osaka.lg.jp

「健康・環境・サイエンス」のバックナンバーはホームページにあります。

大阪市立環境科学研究所

検索